



旅客運輸事業に立ちはだかる課題の 解消に向けた拡張性と俊敏性の向上

STAGECOACH GROUP

greener smarter travel

Web サイト

www.stagecoach.com

業界

LOGISTICS & TRANSPORTATION

所在地

イギリス、ストックポート

主な課題

- IT 環境の柔軟性の低さによりビジネスの俊敏性の確保が困難
- トラブルへの事後対応の比率が過度に高く、IT リソースの活用が非効率的
- 事業に不可欠なバスステーション管理、車両追跡、決済管理アプリのためのクラウド基盤の構築

ソリューション

重要度の高いバスステーション管理アプリの VMware Cloud on AWS での展開(クラウドファーストな IT アプローチへの大々的な移行として初のプロジェクト)

導入効果

- ビジネス クリティカル アプリのサポートに必要な規模、パフォーマンス、俊敏性の確保
- 社内 IT 部門の負荷軽減によるビジネスに価値をもたらす新たなプロジェクトにフォーカスするための時間の創出
- 今後のクラウドファースト プロジェクトのためのテンプレートの提供と、デジタル トランスフォーメーションの実現

導入製品

- VMware Cloud™ on AWS
- VMware vSphere®
- VMware vSAN®
- VMware NSX®
- VMware Cloud Foundation® 統合 SDDC プラットフォーム

イギリスを代表するバス/鉄道運行会社である Stagecoach には、今後起こり得る公共交通サービスにまつわる課題への取り組みが求められています。その一環として、同社はハードウェアを所有し管理するのではなく、より柔軟性のあるデジタル基盤の構築へシフトするべく、IT に対するアプローチの変革を模索していました。その結果、今では同社のもっとも重要なアプリケーションの一部が VMware Cloud™ on AWS 上でホストされており、拡張性、高パフォーマンス、俊敏性を提供するとともに、IT 部門がビジネスに新たな価値をもたらす業務に注力できる環境に貢献しています。

課題

イギリスの公共交通は、多くの深刻な課題に直面しながらもプラスの効果ももたらしています。交通渋滞の解消と大気汚染の改善策への貢献はその一例です。一方で、運賃を安価に抑えるとともに、オンライン ショッピングや在宅勤務の増加など、社会動向の変化へ柔軟に対応することも必要です。

これらすべての課題を現行の運行会社や既存の交通サービスで解決するのは困難です。「創造的破壊者」や新たなサービス提供企業が、公共交通に対するニーズ、支払い、評価を変化させる鍵を握っていると言えるでしょう。

業界で約 40 年にわたる実績を誇る、イギリスの大手交通サービス提供企業として、Stagecoach Group は上述のような課題を解決するソリューションの開発、提供を重視していました。利益の経済性の維持や、創造的破壊者としての俊敏な変革を進めていくには必然であったと言えます。グループ企業で高い収益を生み出している Stagecoach Bus は、自社で所有するストレージ、サーバ、ネットワークを管理しながら従来の IT 環境を進化させていました。安定性は保たれていたものの、俊敏性と拡張性の確保には限界であることが次第に明らかになってきたため、同社は新たなフランチャイズ システムの迅速な導入を支えるより効率的な IT の管理手法を模索していました。「私たちはデータセンター運用のエキスパートではありません」と Stagecoach Bus、テクニカル サービス マネージャの Sam Akroyd 氏は話します。「5 年前は、重要性の高いインフラストラクチャを社外のプロバイダーに任せることに非常に慎重になっていました。SaaS の利用は選択肢にも入っていませんでした。その

後、市場は十分に成熟し、クラウドファーストのアプローチでエンタープライズクラスの基盤を構築できるようになったと考えました」

Stagecoach がクラウドジャーニーをスタートさせるきっかけとなったのは、同社に不可欠なバスステーションおよびバス管理アプリのメジャー アップグレードでした。

「私たちにとって拡張性、パフォーマンス、耐障害性は必須要件でした。このアプリは 200 にのぼるバスステーションを発着するすべてのバス路線をカバーしており、不具合は許されません」(Akroyd 氏)

VMware Cloud on AWS の採用

Stagecoach と VMware の 10 年にわたる協業から、VMware のクラウドソリューションの検討を開始したのは自然な流れだったと Akroyd 氏は話します。ミッションクリティカルな vSphere ベースのアプリケーションを、パブリック クラウドの代表格である AWS を活用してモダン化、保護、拡張できるハイブリッド クラウド ソリューションは VMware Cloud on AWS が最適です。アップグレードされたバスステーション管理アプリは、VMware Cloud on AWS の本番環境へ実装される前に、オンプレミス環境でテストが行われました。

「スケジュールは非常にタイトでした。アプリをアップグレードする日程は確定していたので、VMware のシステムを使い慣れていたので、VMware Cloud on AWS の採用を決めた大きな理由の 1 つです。さらに、VMware Cloud™ で実施したテストがこれまでオンプレミスでおこなってきたものよりも良いパフォーマンスだったことも決め手となりました」(Akroyd 氏)

「VMware Cloud に移行してから、運用環境の稼働状況を心配することが少なくなりました。すべてが順調に機能しているという確実性と信頼性があるためです。また、毎月新機能がリリースされるので、常に最新のテクノロジーを利用している実感が得られています」

「VMware との協業は約 10 年に及びます。クラウドファースト戦略を導入するにあたり、VMware Cloud on AWS への移行は自然な流れでした。信頼関係を築いてきた企業が提供する使い慣れたテクノロジーが採用の決め手となりました」

Stagecoach Bus,
Technical Services Manager,
Sam Akroyd 氏

カスタマープロフィール

Stagecoach Group は、イギリスおよび北米地域でバス、鉄道の運行を担う公共交通事業者です。イギリス国内のバス事業はグループ全体の収益の約 40% を占めています。2 万 4,000 人の従業員と 8,300 台の長距離/路線バスを擁し、年間利用者数は約 9 億 2,000 万人、1 日あたりの乗客数はおよそ 300 万人に上ります。また、2006 年以降、新型バスに対し 10 億ポンドを超える投資を行ってきました。

また、Akroyd 氏は、VMware Cloud on AWS がピークの波に応じてスケールアップや縮小できることは明らかだったと話します。「動的な対応が必要な弊社にとって、VMware のストレッチ クラスタは対象外性の観点だけでなく、必要に応じてホストを追加できる点でも非常に優れた機能です」

VMware Cloud on AWS は、同社のより広範にわたるクラウドファースト戦略の構成要素にもマッチし、ビジネスのデジタル基盤を提供するものでした。Akroyd 氏は、2018 年 1 月に新たに着任した同社の CIO に、VMware Cloud のソリューションは、バスステーション管理アプリのアップグレード対策に留まらないものであると説明しています。

「目標としていたのは、入札案件と新規フランチャイズ加入時に一貫性を確保できる、詳細設定が不要な "Stagecoach サービス" の開発です。VMware Cloud は、これらの要件を網羅しながらも中核となる IT 部門に時間のゆとりをもたらしてくれるソリューションでした」

導入効果

正式発注から 3 週間以内で、2018 年 8 月にバスおよびバスステーション管理アプリが VMware Cloud on AWS の本番環境に移行されました。「これまでオンプレミスまたはホスト型環境を問わずハードウェアの発注に 6 週間、構成に 1 か月を要していました」と Akroyd 氏は話します。

また、Stagecoach はその他のアプリについても検討を始めており、第一弾としてすべての車両の監視アプリ、第二弾として IC カードによる精算機能の統合が計画段階に入っています。いずれもビジネスの成功に欠かせない重要なアプリです。

期待されていたとおり、クラウド サービスへの移行は社内の IT 部門の負荷軽減にも貢献しています。「以前に比べてトラブル対応も少なくなり、より多くの時間をビジネスに貢献するタスクに使うことができるようになったほか、十分な睡眠を確保できるようになりました。また、VMware との協業はより緊密なものとなっています。製品スペシャリストとのコミュニケーションを通じ、将来のテクノロジーに対する理解も深まったと感じています」(Akroyd 氏)

VMware のソリューションは、ビジネス ニーズに応じて拡張できる柔軟性の提供を通じ、脅威やビジネス チャンスへのより迅速な対応に貢献しています。Stagecoach が新たなフランチャイズ ビジネスの拡大を図るなか、VMware Cloud on AWS は、新しい経営モデルの迅速な統合の要です。このことから、管理責任者から経営層にわたり、クラウド サービス市場をリードする企業と協業を行っているという信頼が生まれています。

また、交通ルートや乗客データをより詳細かつリアルタイムに活用できる可能性も広がっています。これにより、価格や運行スケジュールをより動的に調整できるようになるだけでなく、関連性の高いサービスを通じてブランドの維持や顧客からの信頼性の強化を図ることができるはずです。

Stagecoach Bus、Commercial and New Business 部門ディレクター、Paul Bunting 氏は「弊社は創業当初から革新的で企業家精神にあふれたビジネスを展開してきました」と話します。「経営のあり方やお客様のニーズにテクノロジーが根本から影響を与えているのは明らかです。VMware Cloud on AWS の導入は、国境を超えた都市間のバス移動を浸透させていく上で、より迅速かつ俊敏に市場へアプローチしていくには必要なものでした」

今後の展望

VMware Cloud on AWS が提供する充実したサービスにより、クラウドファーストのアプローチの有効性が実証されています、と Akroyd 氏は話します。「長期にわたる設備投資コストの承認を得ることなく、即座にリソースを追加できるというのは、これまで実現し得なかったことです。今では、IT 部門の活動はすべてビジネス ニーズに基づいて行われています」

また、Akroyd 氏は、Amazon Web Services には長期的な発展性があるうえ、VMware のクラウド機能は毎月新たに追加されていると話します。「現在、プールのバックアップのための、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) の大容量ストレージと、マネージド データベース サービスの Amazon RDS の導入を検討しています。弊社のアプリの多くが共通のデータベース プラットフォームで実行されていることから特に関心を寄せています」

「私たちは VMware Cloud のアーリー アダプターとして、サービスの開発に参加しています。弊社の見解も尊重して下さるので、新機能に反映されていると実感しています」

